

社会・文化●情報カプセル

# CAPSULE

**宗教法人審議会メンバーは資格が  
問題統発の神社本庁が持つ「委員枠」**

旧統一教会(世界平和統一家庭連合)の話題に揺れた年が終わり、新年の焦点は解散請求だ。

解散請求の手続きの中でたびたび登場するのが、文化庁に設置された宗教法人審議会。委員は宗教家や学識経験者から選ばれる。十九人のメンバーの中には適格性に疑問が呈されかねない委員もいる。宮城県にある竹駒神社の村田守広

宮司について疑義が出ている。審議会には「神社本庁枠」があり、それまで委員だった宮崎神宮の宮司と交代で審議会入りした

神社本庁から送り込まれた委員に他の宗教法人について意見を言う資格があるかとの指摘がある。神社本庁では近年、問題が噴出し、田中恆清総長の言動が問題となり裁判で神社本庁側が敗訴した例もある。現在も反田中派がもう一人の総長を立てて、正統性が法定で争われており、内紛の真ただ中。そして宗教法人審議会の委員である村田氏は田中派として有名。「辞任すべき」(関係者)との声も聞こえる。